

学生主体から大学との協働へ 日本社会事業大学 障がい学生支援組織 CSSO

〈はじめに〉

この報告における保障体制は2009年度前期までのものである。また、文中にあるプロジェクト支援室は2009年10月から日本学生支援機構の助成によって、プロのコーディネーターが大学に設置され、大学主体で聴覚障害学生支援が行われることになったものである。助成には期限もあり、終了後も大学と協働で継続した支援が行えるよう体制を作っていく必要がある。そこで、大学との協働を目的とした支援室チーム（2009年6月26日結成）の活動を中心に本報告をまとめた。

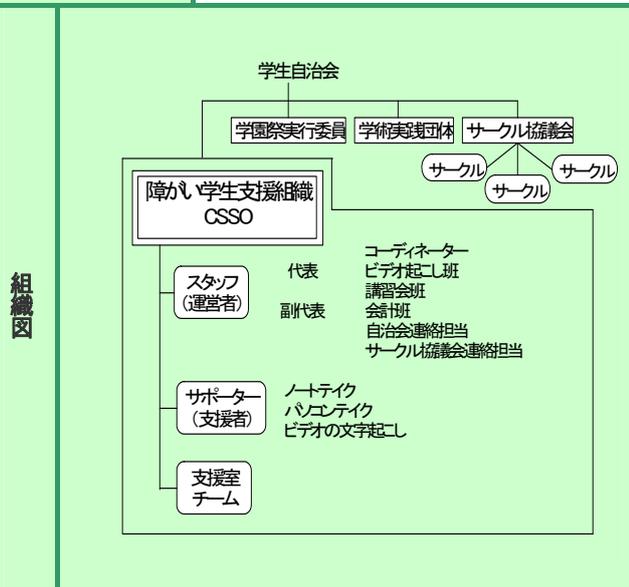
学生数	約900人
聴覚障害学生	2人
運営スタッフ 支援サポーター	26人 100人

学生主体の講義保障体制

大学の特徵	1学部2学科・福祉の単科大学
運営主体	障がい学生支援組織 CSSO
CSSO	障がいのある学生も障害のない学生と同じように、学生生活を送れるようにともに必要な支援を考え、提供する。 (2005年6月活動開始)
提供しているサービス	・ノートテイク ・パソコンテイク ・ビデオの文字起こし (車イス、視覚障がい学生にもニーズに対応した支援を検討していく)
謝礼金	1コマ/500円 (個人負担)
支援要請のあった講義の支援率	90%前後

大学と協働に向けて

現在行っている活動	<ul style="list-style-type: none"> ・支援室チーム（他大学支援室見学、フォーラム等参加） ・大学との話し合い（月1回） ・スタッフ業務のマニュアル化 ・学生課とのプロ講習会の共同開催（年2回） ・プロジェクト支援室との協働体制模索
これからの課題	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい学生支援においてプロジェクト支援室とCSSOとの関わりを明確にしていく。 ・障がい学生のスタッフ活動への参加を活かし、心のバリアフリーを進めていく。(志縁構築) ・安定し、継続した支援を行えるようマニュアル化、ルール統一など質の保持・向上に努める。 ・プロジェクト支援室と日本社会事業大学全体のバリアフリー化を目指す。



障がい学生支援組織 CSSO
(Challenged Students Support Organization)
〒204-8555
東京都清瀬市竹丘3丁目1番30号